平成 24 年 12 月 21 日

各　　位

会社名　　株 式 会 社 三 ツ 知
代表者名　代表取締役社長　村瀬　修
（ＪＡＳＤＡＱ・コード番号：３４３９）
問合せ先　専務取締役管理部門統括
山口 廣昭
（電　話　　０５２－７９８－１１２６）

平成 25 年６月期の業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 24 年７月 31 日付当社「平成 24 年６月期決算短信」において発表いたしました平成 25 年６月期第２四半期(平成 24 年７月１日～平成 24 年 12 月 31 日)及び、平成 25 年６月期通期（平成 24 年７月１日～平成 25 年６月 30 日）の連結及び個別の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成 25 年６月期第２四半期連結業績予想数値の修正(平成 24 年７月１日～平成 24 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	6,693	160	123	32	12.81
今回修正予想（Ｂ）	6,343	△65	△66	△450	△178.17
増減額（Ｂ－Ａ）	△350	△226	△190	△483	
増減率（%）	△5.2	－	－	－	
(ご参考)前年同四半期実績（平成24年６月期第２四半期）	5,001	224	215	119	47.43

平成 25 年６月期第２四半期個別業績予想数値の修正(平成 24 年７月１日～平成 24 年 12 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	5,701	259	195	77.36
今回修正予想（Ｂ）	5,399	206	167	66.07
増減額（Ｂ－Ａ）	△302	△52	△28	
増減率（%）	△5.3	△20.1	△14.6	
(ご参考)前年同四半期実績（平成24年６月期第２四半期）	4,480	137	93	37.14

平成25年６月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年７月１日～平成25年６月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	13,434	502	510	411	162.78
今回修正予想（Ｂ）	12,693	△150	△28	△418	△165.33
増減額（Ｂ－Ａ）	△740	△653	△539	△829	
増減率（%）	△5.5	－	－	－	
(ご参考)前期実績（平成24年６月期）	11,509	△51	△30	△163	△64.79

平成25年６月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年７月１日～平成25年６月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	11,402	504	351	139.11
今回修正予想（Ｂ）	10,726	389	283	112.15
増減額（Ｂ－Ａ）	△676	△115	△68	
増減率（%）	△5.9	△22.8	△19.4	
(ご参考)前期実績（平成24年６月期）	11,018	266	172	68.17

修正の理由（第２四半期・通期予想）

・連結

売上高につきましては、日本セグメントにおいて、海外メーカーとの競争激化に伴い、得意先からの値引きが増加しております。また、中国との領土問題に端を発し、日系完成車メーカーの中国現法で生産調整が発生しております。そのため得意先を通じての中国向けの受注が大幅に減少しております。以上により、前回予想を大幅に下回る見込みであります。

利益面につきましては、タイセグメントにおきまして、売上高は洪水前の水準まで回復しつつありますが、日本での代替生産品の在庫圧縮が当初想定通りに進展しておらず、一部の製品において生産調整を実施のため、利益率の回復が大幅に遅れ、低い水準で推移しております。そのため、当初予想では、通期で黒字計上の見込みでしたが、利益計画を見直した結果、通期で赤字計上の見込みに修正しております。

日本セグメントにおきましては、全社をあげてコスト削減に取り組んでまいりましたが、受注減少に伴う売上総利益の減少と売上総利益率の悪化により、利益計画も大幅に減益の見込みであります。

以上の理由により、連結におきましても、営業利益、経常利益、いずれも前回予想を下回り赤字計上の見込みであります。

また、当期純利益に関しましては、昨年12月に当社グループとなりました、株式会社三ツ知春日井の利益計画を見直した結果、中国向け製品の急激な受注減少に伴い、将来の課税所得の大幅な減少が見込まれるため、当第２四半期決算において、繰延税金資産の取崩し(334百万円)を実施する予定であります。

そのため、法人税等調整額が大幅に増加し、当期純利益が大幅な赤字計上となる見込みであります。

・個別

売上高につきましては、連結の日本セグメント同様、得意先からの値引きの増加、及び得意先を通じた日系完成車メーカーの中国現法向けの受注が大幅に減少したこと等により、前回予想を下回る見込みであります。

利益面につきましては、売上高の減少に伴う売上総利益の減少等により、経常利益、当期純利益共に前回予想を下回る見込みであります。

［業績予想に関する注意］

上記の業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき弊社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因の変化により大きく異なることがありえますことをご承知置きください。

以上